

■1 目的

各校が特色ある教育活動を実践し被災した児童生徒の心身の安定を図り、一人一人の学力が向上する指導を行うとともに、被災中学校生徒の ICT に対応する能力の向上をさせ、将来の職業選択の幅を広げるための教育活動を実践する。

■2 事業費

○事業費決算 25,661,721 円

■3 創意工夫支援事業補助金事業、被災中学校ICT機器導入事業

(1)小学校

- ① 語彙力や調べる力、表現力の育成
 - 国語辞典・漢字辞典の活用
 - 子ども新聞の活用
 - 話し方教室の実施
- ② ICT機器を活用した授業改善
 - デジタル教科書を活用した指導
 - iPad、電子黒板の効果的な活用
- ③ 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 国語、算数のドリル学習の充実(学習プリント、問題集・学習ソフト活用)
 - 夏季休業中の学習会の実施(問題集活用)
- ④ 学力向上の基盤となる学級経営の充実
 - ソーシャルスキルワークの活用
- ⑤ 各種検定を活用した学力向上
 - 算数数学思考力検定、実用数学技能検定
 - 漢字検定
- ⑥ 家庭との連携による生活習慣・学習習慣の確立
 - 家庭学習の手引きの配付
 - 学力向上強化週間、家庭学習強化週間の実施
- ⑦ 外部講師を招聘しての研究授業や講演の実施による教員の指導力向上
 - 相双教育事務所・相馬市教委指導主事による研究授業の指導
 - 福島大学、福島学院大教授による研究授業の指導
 - 青山大学特任教授、筑波大附属小教官による授業
 - 東北学院大学教授による講話(ICT活用)
 - 県内先進校教員による授業
 - 授業学研究所による授業実践講座
 - アナウンサーによる「話し方教室」

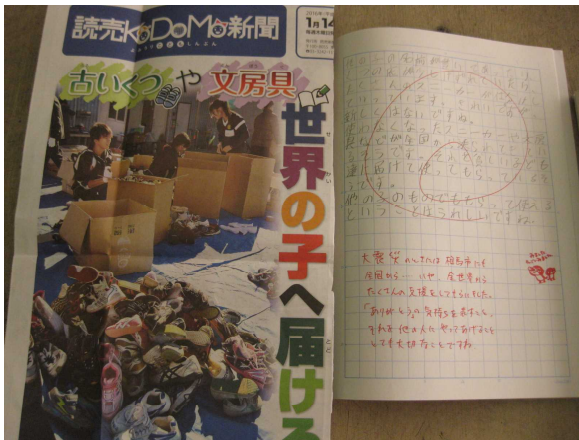
【小学校における事業の様子】



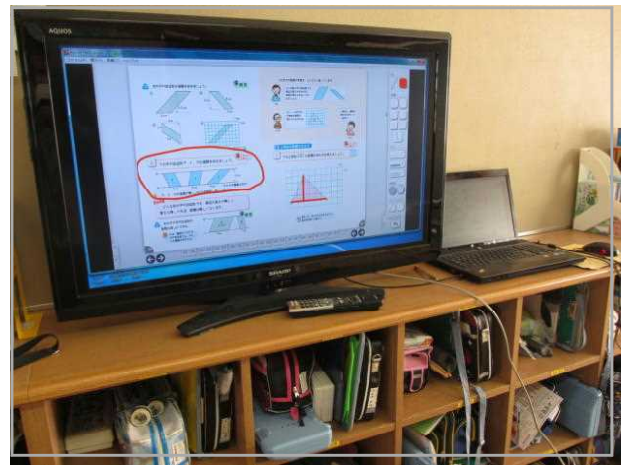
国語辞典の活用



アナウンサーによる「話し方教室」



子ども新聞の活用



デジタル教科書の活用



授業改善研修会



夏休み学習会



講師による授業

(2) 中学校

- ① 各種検定実施による学習意欲の向上と学力向上
 - 漢検、数検、英検、歴史検、理科検の実施
- ② 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 習熟の時間の充実(問題集活用)
 - 週末課題の充実(問題集活用)
 - 長期休業中の学習会の実施(問題集活用)
- ③ ICT機器を活用した授業改善
 - iPadの有効活用
 - デジタル教材を活用した授業改善
- ④ 家庭との連携による生活習慣・学習習慣の確立
 - ノーゲームデーの実施
- ⑤ 外部講師を招聘しての授業研修会実施による教員の指導力向上
 - 福島大学教授による授業及び講演
 - 茨城県メディア教育指導員による講演会
 - 授業学研究所による授業実践講座
 - 新潟大教授による授業
 - 予備校講師による講演会

【中学校における事業の様子】



タブレットを活用した授業



大学教授による授業



自分の作成した動画の説明



塾講師による講演



ウィンタースクール
中学生が小学生に課題を教えている様子



英語検定試験



メディア教育講演会

(1) 成果

[児童・生徒]

- ① 国語辞典や漢字辞典を一人一人に配付し、授業だけでなく家庭学習でも活用するようになったことにより、言葉に関心を持つ児童が増え、語彙力の向上につながった。
- ② 子ども新聞の活用により、社会への関心を高め、主体的に情報を得ようとする態度の育成につながった。
- ③ タブレットを活用することで、楽しみながら基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることができた。また、いつでもどこでも調べることができ、探究心の向上を図ることができた。
- ④ 各種検定や問題集を活用し目標を持たせることで、学習への意欲の向上を図ることができた。家庭での学習時間がのびてきた。

[保護者・地域]

- ① 学校便りや教育講演会等により、学力向上についての取組を具体的に示すことで学力向上への関心を高めた。また、保護者の学校の取組に対する理解が深まった。
- ② 家庭学習強化週間やノーゲームデーの実施により、児童・生徒の家庭学習の時間がのびてきた。

[教職員]

- ① 先進校への研修視察をとおして、学力向上に関わる最新の情報を得るとともに指導技術を学び、授業に生かすことができた。
- ② 授業研究会による講師や授業アドバイザーからの指導で、子どもの見方・考え方、子どものつぶやきや発言の生かし方等具体的に指導技術を学び、授業に生かすことができた。
- ③ ICT機器が充実してきたことにより、多様な学習スタイルを構築することができつつある。
- ④ 授業改善へ取り組む意識が高まるなど、研修への意欲を高めることができた。

(2) 課題

- ① 児童生徒の基礎・基本の定着を図るだけでなく、活用力の向上も図っていきたい。
- ② 今後も教職員の研修意欲を高めながら、児童生徒一人一人の学習課題の改善に取り組んでいきたい。
- ③ 自校の取組を改善しさらに効果的なものとするために、各学校の取組の成果を共有することを考えていきたい。